

第22回 郷土芸能ねりま座

令和7年2月16日(日)

13:00 開演 (12:30 開場)

会場：練馬区立生涯学習センター
入場無料 定員 300名 (先着順)



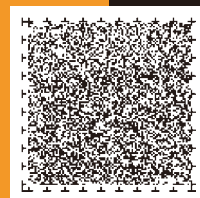
© 山口 秀明

第1部 江戸の祭囃子
・中里囃子連
・上石神井囃子連中
・仲若囃子連

第2部 秩父歌舞伎正和会
・三番叟
・吉剣曾我対面～工藤館之場～

主催：練馬区

協力：練馬区民俗芸能協議会





●練馬の囃子

現在、練馬区内で活動している囃子は14団体あり、すべて江戸の祭囃子の系譜を引く囃子です。

祭囃子とは、神社の祭礼における練り行列の山車(だし)や屋台などで演奏する囃子のことです。

現在も区内各地にある神社の祭礼で、屋台に乗って神輿行列を先導したり、境内の舞台上で演じるなどし、大いに祭りを盛り上げています。

今回は、練馬区内で活動している3団体が出演します。

それぞれに異なる曲調や構成をお楽しみください。また、寿獅子などの付随芸能も披露します。

●秩父歌舞伎正和会

(埼玉県秩父市指定無形民俗文化財)

秩父地方には江戸時代から200年以上続く地芝居の伝統があり、庶民が歌舞伎に慣れ親しんできた土地柄です。

太平洋戦争中、秩父市の有志が元秩父座の役者、初代・関竹寿郎を師匠にして「出征遺家族慰問の夕べ」という催しで地芝居を上演し、その人たちが中心となって戦後の昭和22年(1947)に秩父歌舞伎正和会を発足させました。

初期の正和会は、秩父祭(12月2日・3日)の屋台芝居をはじめ、戦争の激化で途絶えた各地の祭芝居の復活に貢献してきました。その功績が認められ昭和44年には秩父市の無形民俗文化財に指定されました。

現在は秩父祭など年間5回の定期公演に加え、全国各地からの公演依頼もこなすなど活動の場を広げています。

また、地元秩父市内の小中学校の児童・生徒を対象に子ども歌舞伎の育成、後継者づくりも進めています。

今回は、鎌倉時代初期に起こった実話を基にしていると伝わる「曾我物語」を題材とした演目の一場面「吉例曾我対面」を披露します。



© 山口 秀明



© 山口 秀明

●会場「生涯学習センター」へのアクセス

西武池袋線・西武有楽町線・都営地下鉄大江戸線「練馬」駅下車 徒歩 10分

※ お車でのご来館はご遠慮ください。

●問合せ 文化・生涯学習課 伝統文化係

(練馬区役所 本庁舎 8階 03-5984-2442)

※ 公演当日は会場 (03-3991-1667) に直接お問い合わせください。

